

富山大は今月、理工系学部に進学する女子学生を増やそうと「スマート・ポリネーター」プログラムをスタートさせる。同大大学院の理系女子が主体となって女子中高生向けのイベントなどを企画・運営し、科学の魅力や研究の面白さを伝える。同大によると、北陸では初の取り組み。13日、同大五福キャンパスで任命式があった。

【webunに写真3枚】

メンバーは、伊藤志帆さん（医学薬学教育部博士前期課程1年）、下平文香さん（理工学教育部修士課程1年）、今井遥さん（生命融合科学教育部博士



北日本  
6/14

富山大 PR役任命

課程1年）、平岩明子さん（医学薬学教育部博士課程4年）の4人。5月に公募し、審査会などを経て決まった。任期は1年。8月のオープンキャンパスに合わせて研究内容や学生生活を紹介するコーナーを設ける。女性研究者らを招いた講演会や座談会の企画・運営などにも携わる。

「ポリネーター」は花粉を運んで受粉させる生き物のことで、若者に科学の魅力を伝え、研究者を増やすという願いを込めた。男女共同参画の取り組みを推進するための同大のキャッチフレーズ「スマート」と組み合わせた。

任命式では、鈴木基史同大男女共同参画担当理事が「固定概念にとらわれず、若い力でいろいろなイベントをつくり上げてほしい」とあいさつし、任命書を手渡した。懇談会やオリエンテーションもあり、学生が抱負を語った。今井さんは「理系女性研究者のロールモデルとなるよう精いっぱい活動したい」と意気込みを話した。

◇ この記事は、webunで会員以外の方もご覧になれます。

任命書を受け取る（左から）今井さん、下平さん、伊藤さん―富山大五福キャンパス

リケジョ、にならない？